

# 令和6（2024）年度生涯学習・社会教育関係職員パワーアップ講座②実施報告

実施日：令和6年10月8日（火）

本研修は、生涯学習・社会教育主管課や公民館、図書館、関連施設等の職員を対象に、社会の要請に応じた生涯学習・社会教育行政を一步ずつ着実に推進するため、各自治体で取り組もうと考える施策を実現・実行するために必要な知識や技術の習得を目指します。

第2回の研修では、施策を分かりやすく説明するための知識と技術として、財政的視点を取り入れたポンチ絵の作成について演習を行いました。

## ○演習「予算獲得につながるポンチ絵をつくろう②～財政的視点からチェックする～」

栃木県教育委員会事務局生涯学習課 社会教育主事 大越 真二  
主査 中里 由佳

はじめに、グループワークとして前回の研修の振り返りと施策や事業を考える際の用語についてのミニワークを行いました。次に予算の獲得のポイントとして、その必要性を明確にするための情報収集の際に、取組の有益さを示す数値や事例を収集することで、事業を進める上での説得力を高められることなどの説明がありました。そして、ポンチ絵を見せる相手や状況によって記載内容を変えていく必要があることや、ポンチ絵は一度作成すれば様々な場面で使えることなど、ポンチ絵を作成する上で大切なことや、メリットについても説明がありました。



演習の後半では、新規事業組み立てシートを基に、自分が担当している事業についてパワーポイントを使ってポンチ絵を作成しました。受講者は、第1回に学んだことも生かして、色使いや説明する相手を想定しながらポンチ絵づくりを進めました。お互いに情報交換をしたり、アドバイスし合ったりしながらポンチ絵づくりに熱心に取り組む姿が見られました。

第3回の研修の後半では、今回作成したポンチ絵について協議していきます。

## ☆受講者の声（アンケートから）

- ・説明の中で「情報を集める」という点が印象に残りました。予算の獲得に関わらず、自分の担当している事業をより知るために情報を集め、自分なりの仮説を立てるということがとても大切だと思いました。
- ・ポンチ絵を作る時、説明する相手による使い分けを教えてくださいました。普段から事業を検討する際にポンチ絵を作りながら検討することが多いので、今回教えていただいたことを意識しながらポンチ絵の作成に勤しもうかと思えます。
- ・講座の企画運営に非常に大切な内容を学ばせていただいたり、他市町の方と情報交換しつつ振り返りを行うことができたりしたことがよりよい気付きになりました。次回の第3回に向けてのポンチ絵の作成も楽しみながら進めていきたいと思えます。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp